



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会

育成連合協議会

発行者 中山 良明

平成 23 年 3 月 31 日

発行所：大阪市中央区法円坂 1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel:6941-1116 Fax:6943-8906

昨年、十一月六(土)から七日(日)の二日間、にわたり、第四十七回指定都市子ども会育成研究協議会大阪大会が、「地域で学び・施設を活かし・楽しく育む子ども会」の実現に向けてを、基本テーマとして、シエラトン都ホテル大阪を主会場として開催されました。

開会式前のアトラクションでは、鼓笛隊第一分隊の演奏で始まり、開会式では、鼓笛隊第二分隊が力強いファンファーレと大阪子ども会の歌を披露し、会場の雰囲気盛り上げました。



開会式は、市子連、中山会長の挨拶に始まり、来賓の北山大阪市長からは、市民と行政がこどもの健全な育成に向けて『いっしょにやりまひよ!』とのご祝辞をいただき、会場に集まった四百名近くの皆様から盛大な拍手がありました。表彰式では、永年にわたる子どもたちのためにご尽力された



その後、受賞者を代表して大阪市の福光秀高氏より『これまで子ども会活動が続けてこられたことは、子どもの笑顔・頑張り・勇気だと思います。これからも、この気持ちを大切になお一層励むつもりです。』との謝辞がありました。

表彰を受けられた皆様、おめでとうございます。

今後のより一層のご活躍を期待いたします。

大会の基調講演では、大阪ガス株式会社社長の朝原宣治さん(北京オリンピック四百メートル銅メダリスト)を講師

第四十七回 指定都市子ども会 育成研究協議会大阪大会 開催

第47回 指定都市子ども会育成研究協議会

主催 (社)全国子ども会連合会・指定都市子ども会連絡協議会・大阪都市子ども会育成連合協議会
 後援 内閣府・厚生労働省 文部科学省・大阪市・大阪府教育委員会

としてお招きして、『子どもたちに生きる力を、信頼される指導者とは』について、一時半にわたりお話しいただきました。

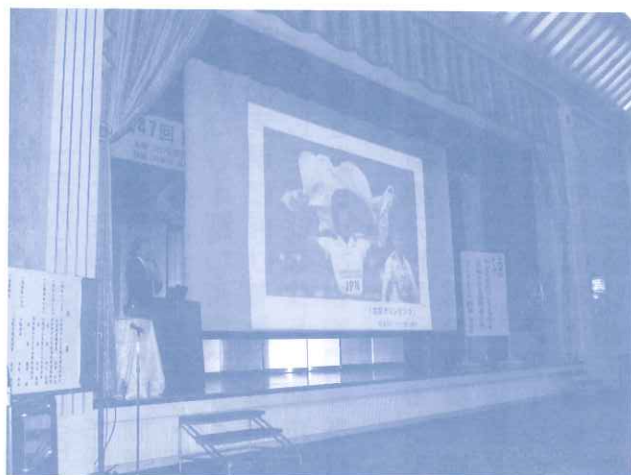
講演内容は、参加されている指導者を引きつけるお話で、「あつと」言う間の時間であり、最後は盛大な拍手で講演が終了しました。

引続いたの部会協議では、テーマに基づき四分科会に分かれて各都市の現状や問題点など意見交換をし、課題の解決における今後の

方策などについて、熱心に討論されました。

情報交換会でのアトラクションでは、鼓笛隊指導者の生演奏が交換会に花を添え、各都市から参加された皆様は、和気あいあいの雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。

そして情報交換会ではお忙しい中、平松大阪市長もかけつけてくださり、大阪市では社会総がかりで子どもたちを育む環境づくりに力を注いでいるので、これまで以上に子ども会指導者の一層のご活躍とご協力をお願いしたいとのご挨拶をいただきました。



第47回 指定都市子ども会育成研究協議会

主催 (社)全国子ども会連合会・指定都市子ども会連絡協議会・大阪市子ども会育成連合協議会
後援 内閣府・厚生労働省・文部科学省・大阪市・大阪市教育委員会

The photograph shows a man in a dark suit and tie standing behind a dark podium, speaking into a microphone. The podium has a small logo on the front. Behind him is a large blue backdrop with three logos: the Japanese flag (white with a red circle) in the center, the Osaka City Children's Welfare Association logo (a stylized 'e' shape) on the left, and the Osaka City Education Committee logo (a bell inside a wreath) on the right. Below the logos, the text '大阪市子ども会育成協議会' is visible. The backdrop is flanked by two large, ornate, light-colored pillars. The overall scene is a formal conference or meeting.

二日目は、会場を港区の海遊館ホールに移して閉会式を行い、次回開催都市である仙台市に会旗を引き継ぎました。

閉会后、各都市からの参加者は海遊館を見学され、全日程を終りました。

本大会が無事終了出来ましたことは、大会スタッフの皆様お一人お一人のご理解とご協力のお陰であり、お礼申しあげます。

平成二十五年度には、指定都市子ども会育成協議会・ＪＬ大会が、大阪で開催されますので、ＪＬ大会にも引き続きご協力をお願いいたします。



『浪速区 地引網体験』

十月十七日、私達は南海電鉄で岡田浦漁港に地引網に行きました。大人二十名、小学生と幼児合わせて三十五名の総勢五十五名の参加でした。当日の天気は少し曇りがちで肌寒さが感じられました。

漁港へは電車と徒歩で1時間半ほどの道のりで、皆でワイワイと楽しくおしゃべりしている間に9時半ごろ到着しました。廣瀬会長の開会式の挨拶と研修部長による注意事項の説明が終わるといよいよ子どもたちの地引網体験が始まりました。



二つのチームに分かれて、競争しながら綱を一生懸命に引っ張る子どもたちの顔!! 顔!! 軍手を付けていても海水に濡れた綱はとても滑りやすく、必死に堪えながら綱を握っている子! 全体重を乗せた為にいまにも倒れそうになっている子! 子どもたちのいろんな表情が見られてとても楽しかったです。その後、海鮮バーベキューのお昼ご飯を食べ終え、〇×クイズによる地引網で取れた魚の争奪戦に一喜一憂する子どもたちの顔色!! 本当に楽しい一日でした。

広報部長 石井 紀子

『都島区 ドッジボール大会』

都島区では、年二回ドッジボール大会を行います。春は都島区スポーツ大会の一環で行われます。

秋季大会は都島区こども会育成連合協議会の主催で、スポーツを通じて協調精神を養い、健全なる心身の育成を目的として行います。

春の大会からはほぼ半年が経って、秋季大会では各チームが試合前大会での反省をふまえて練習を積み重ねレベルアップをして試合に臨むのでより白熱した試合になります。



また、指導者や保護者や関係者の応援にも熱が入ります。近年は、児童数の減少の影響もありチーム編成もままならない校区もありますが、我々指導者がこども達の思い出に残るような楽しい大会にして行きたいと思っています。

広報部長 前川 繁次

『生野区』

生野区子供会育成連合会は、子どもたちの福祉の増進に寄与することを目的に、子ども会活動及び育成会活動の充実に努め、さまざまな取り組みを行っています。



「子どもカーバル」や「たこあげのつどい」、「生野まつり」などを通して、地域で子どもがすこやかに暮らし、成長することができると社会を目指しています。

生野区においても、少子化や地域コミュニティの希薄化などさまざまな要因により、子ども会活動が単位会レベルから衰退してきております。加えて、子ども会自体が、世の中の変化についていけない部分もございます。

そのような問題を克服しつつ、未来を担う子どもたちの健全育成につとめ、生野区がさらなる活気あふれる街になるよう、取り組んでいきたいと考えています。

広報部長 西川 健司



『西区 たこあげ大会』



毎年一月の恒例行事になっている「西区民たこあげ大会」が、今年も二十三日の日曜日に松島少年広場で開催されました。

当日は晴天にめぐまれましたがあいにく風がなく、指導者が一日かけて作った手づくりのたこが大空高くまい上がるといふ光景は目にするのができませんでした。それでも子ども達は昨年末の「たこづくり教室」で作った思い思いの手づくりのたこを持ち寄ってきて少年広場を走り回っていました。



また、別のコーナーでは、餅つき、うどん、ぜんざいなどの食べ物のほか、はねつき、こままわし、竹馬、けん玉などのなつかしい遊びをスタンプリーの形式で楽しむこと

ができました。子ども達だけでなく、家族そろって楽しんでいるという風景を目にすることができ、楽しい一日がすごせました。

広報部長 藤田 幸二

『港区 もちつき大会』

十二月十二日に市岡元町子ども会の恒例のもちつき大会が、市岡東中学校の校庭でありました。

もちつき大会では、おもちをついたり、丸めたりしました。おもちをさわると手ついたりしました。おもちを丸めるとその後、



自分で丸めたおもちを食べたり、おぞうにを食べました。とてもおい

しかったです。
おもちをつく時、きねがとても重
たくて、なかなかつけなかつたです。
とても良い経験が出来て良かつ
たです。
またもちつき大会に参加したい
です。

市岡元町子ども会六年
吉崎 日菜瀬

「城東区 地域での検定試験」

平成二十二年十一月三日に鳴
野小学校で、鳴野連合なかよしこ
ども会による鳴野検定試験（二
級）が実施されました。これは、



はぐくみネットワークの取り組
みで、連合町会の各々がこども達
を対象にして、「鳴野フェスタ」と
して開催されるイベントで、その
なかでなかよしこども会は、親子
で受験できる試験として、鳴野検
定試験を行いました。内容は、鳴
野の歴史や特徴などを出題して、
鳴野をよく知ってもらおうとい
うねらいでした。初回ということ
もありましたが、全員で二十一名
が受験したうち、合格者は九名で
した。初回ということもありまし
たが、こどもの合格者はわずか三
名でした。
試験時間は三十分、出題形式は四
択式解答二十五問で、六十点以上
が合格し、合格者は次回に、一級
試験に挑戦できるのです。合格し
たこども達は、「ちよつとむずか

しかったが、知らないことも多か
ったので、もっと鳴野を知ってい
きたいです。」と感想を述べてい
ました。大人も「久しぶりに小学
校の教室でテストを受けました。
こどものころが懐かしいです。」と
話していました。

広報部長 谷田 宣広

『第十六回住吉区子ども文化祭』

平成二十二年十一月二十八日
（日）午後一時三十分より、「第十
六回住吉区子ども文化祭」を開
催いたしました。

子ども会からは二団体、一般
参加が一団体、それに住之江区



の粉浜校下子ども会の皆様が花
を添えるという形で行いました。
参加団体は少なかつたのです
が、「ソーラン節」は迫力があり、
日頃の練習の成果が発揮されたと
感じられました。「歌とダンス」
も、元気のいい演技を見せてく
れました。どちらの団体も、指
導者の方々の苦勞のほどが垣間
見え、それに応えるように子ど
も達も一生懸命に演技をしてい
ました。また、審査員を引き受
けてくださった方々にも感謝の
気持ちでいっぱいです。
このような行事を毎年継続す
ることによって、いつかは多く
の団体が参加してくれるように
これからも取り組んでいきたい
と思います。

文化部長 林 喜美

第48回大阪市各区対抗親善ソフトボール大会

九月五日・十二日（体調不良順延）の両日に渡り大阪城少年野球場で、各区の代表が優勝を競い「第四十八回大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会」を行いました。

特筆すべきことは、「勝利に向かい最後まであきらめずに取り組み子ども達の姿は感動を与えてくれる。」という事です。それは素晴らしい指導者が子ども達を育て、また子ども達が指導者を成長させてくれる上層効果の結果だと思っています。これから子どもたちのスポーツ育成に少しでも役立てるよう、子ども達が輝ける事業を推進して行きたいと思っています。

最後になりましたが、大会にご協力頂いた各区理事・体育部長並びに各チーム指導者の皆様にお礼を申し上げます。

市子連 体育部長

優勝・・・住吉区

清水丘アパッチジュニア

準優勝・・・東淀川区

大道南連合子供会

第三位・・・港区

田中子ども会

第三位・・・淀川区

西三国連合子供会

ソフトボール大会優勝

住吉区清水丘アパッチ

ほくは、アパッチのキャプテンをまかされ、初めはつらくてやめたいと思いましたが。でも、大会で良い成績を残していくうちに楽しくなりました。大阪城での大会で優勝をめざして、区の大会の後、



決勝戦も引き分けてまた抽選でした。

アパッチの勝ちと言われたとき、めざしていた、大阪市の大会の一位を実現できてうれしかったです。アパッチのみんなでがんばったからです。六年間アパッチでソフトボールを続けてきて、キャプテンまでやって良かったです。監督やコーチ、応援してくれたお母さん、みんなに感謝します。ありがとうございました！！

キャプテン 水野 雄貴

準優勝 東淀川区

大道南連合子供会



第三位 港区

田中子ども会



第三位 淀川区

西三国連合子供会



毎日朝練を休まず続けました。しんどかったけれど続けてよかったです。大会当日は緊張しましたが、三回戦で、田中子ども会に抽選で勝った時はうれしくて泣いてしまいました。負けたくないという気持ちと、チームが一つになったことが勝ちにつながったと思います。

『理事・指導者研修』

二月二十日(日)『活動における様々な課題と指導者・育成者のスキルアップの実現に向けて』をテーマに、中央研修会が鶴見区民センターで、各区指導者・育成者百十二名の参加により開催されました。

はじめに、中山会長の挨拶があり、続いて大阪市こども青少年局担当部長、西村和英様から「地域で子ども達を育む環境づくり」に力を注いでいる参加者により一層のご活躍とご協力をお願いします」とのご挨拶を頂きました。



そして、松本担当副会長から「今まさに魅力ある子ども会発展のため基本理念を曲げず、どう実践に結びつけていくか協議が必要です」との研修趣旨の説明があり、各ブロックに分かれて意見交換をし、実情や解決策等の討議が行われ、今後の活動に役立つ内容で終わりました。

子ども会、会員は一人一人が影響力を持っていることを再認識し、一層の理解と協調を促進しながら、活発な活動を進めることが重要です。今後とも市子連の活動目的である、各区子ども会及び育成者相互の連絡協調を図り、その活動を振興し、子どもの健全育成に努めましょう。

市子連 指導研修部長

『第二十八回市子連文化祭』

本年度の市子連文化祭は、市内各区から十四区の子ども達が参加して開催されました。あらためて考えてみますと、二十八年もの長い年月においては、親子二代にわたって参加されている方もおられるかもしれません。今日の子ども達の演技を見ていますと、年々演技が幅広くすばらしくなっており、その練習風景が目につかぶようです。審査員の皆様も大変悩まれたことと思います。これもひとえに指導者ならびに育成者の熱意の表れだと感じ、今後子ども達のために色々な『夢』を与えて下さいますようにお願い致します。



いますようにお願い致します。

また、各区の文化部・安全対策部の皆様には、早朝より運営にあたっていたいただき、大変お世話になりました。参加してくれた子ども達ならびに指導者の皆様およびスタッフの方に対しましてお礼申し上げます。

尚、プログラム内容の各区のパネル展紹介の不備により、西区の紹介が記載されず、西区の会長・役員の皆様には大変ご迷惑をかけましたことを、紙面をお借りしてお詫び致します。

最優秀賞 東住吉区

優秀賞 福島区

東田辺連合子ども会

吉野・新家子ども会

市子連 文化部長

平成二十二年表彰者

全子連表彰者

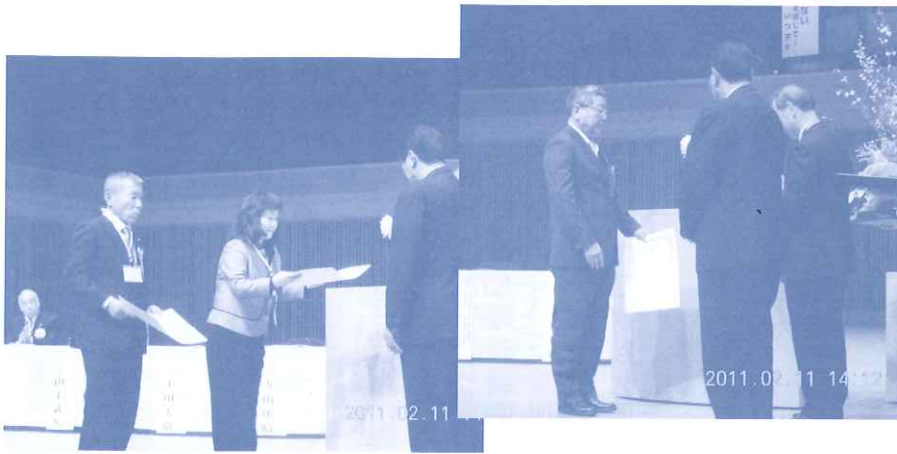
平成二十三年二月十二日

阿倍野区

梶本 行俊

西淀川区

木村 勉



指定都市表彰者

平成二十二年十一月六日

個人の部

天王寺区

天王寺区

中央区

此花区

城東区

都島区

住吉区

大正区

住吉区

淀川区

南 志朗

井川 満裕

魚住 良治

石谷 育子

上野 道代

中根 信雄

福光 秀高

藤川 禎彦

住吉区子ども会

育成連合協議会

北中嶋連合子ども会

市子連表彰者

平成二十三年二月二十日

個人の部

都島区

港 区

大正区

西淀川区

淀川区

旭 区

渡慶次 良成

渡慶次 輝美

田中 由美子

田中 勇作

大谷 祥

大谷 隆子

坂井 久明

坂井 洋子

佐々木 惇

大住 好弘

大住 きみ子

子ども会組織の部

平成二十三年三月六日

住吉区

住之江区

宮下

宮下

富美

高曲 真理

高曲 清高

道朗

田中子ども会育成会

新高連合子供会

阿倍野区 晴明通町会子ども会



第47回 指定都市子ども会育成研究協議会

主催 (社)全国子ども会連合会・指定都市子ども会連合協議会・大阪市子ども会育成連合協議会
後援 内閣府・厚生労働省・文部科学省・大阪市・大阪府教育委員会



平成22年度 大阪市子ども会指導者・育成者・中央研修会

主催 大阪市子ども会育成連合協議会・大阪市

